

黒ノリ養殖業におけるIoT観測機器の活用マニュアル

黒ノリ養殖における安定生産のカギ

黒ノリ養殖では、養殖網への採苗(種付け)、養殖、摘採さらに加工に至る一連の工程を生産者が行います。海上での養殖開始後に、養殖網に対して行える人為的な管理は限定的であり、ノリの生育は気象(気温、降水量、日照時間、風)や海況(水温、栄養塩、塩分、潮流、潮位)などの環境要因によって大きく影響されます。そのため、漁場環境の変化を「正確かつ迅速に把握」しながら養殖管理を行うことが安定生産のカギとなります。

黒ノリの安定生産に向け、スマート技術を活用することで、養殖管理に重要な海況情報をリアルタイムに観測、共有する新たな養殖支援システムのための「黒ノリ養殖業におけるIoT観測機器の活用マニュアル」を作成しました。

黒ノリ養殖業におけるIoT観測機器の活用マニュアル
(令和5年3月 暫定版)



三重県水産研究所
三重県黒ノリ養殖研究会
三重県漁業協同組合連合会 指導部

IoT観測機器の活用マニュアル

黒ノリ養殖におけるスマート化技術の未来像

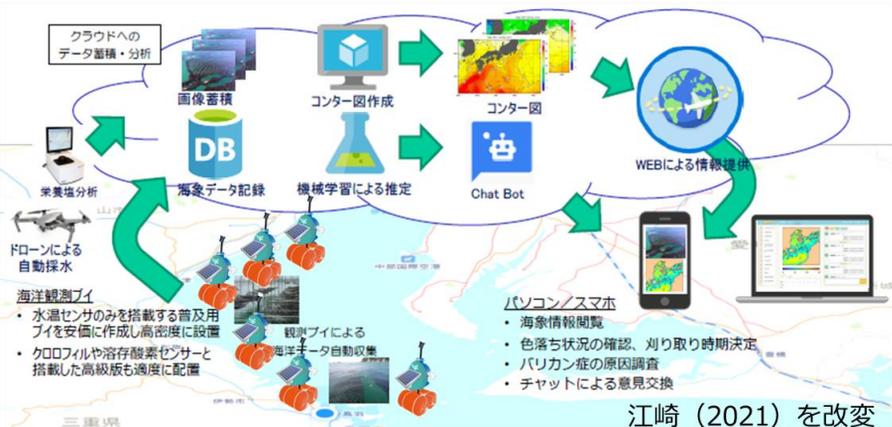


図. 黒ノリ養殖におけるスマート化技術の未来像

- IoT観測機器が漁場に配備され、海況変化を観測します。
- 海況データは、生産者に有用な形式で配信されます。
- IoT観測機器により、生産者は漁場まで行かなくても漁場の海況情報を確認することが可能となります。

これまでの経験則に頼った養殖管理に加えて、スマート化技術によって得られた科学的データを活用した養殖管理手法の確立をめざします。



三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

Mie Prefecture Fisheries Research Institute

〒510-0243 鈴鹿市白子1丁目6277-4

TEL (059)386-0163

FAX(059)386-5812